

令和5年度「インターネットによる遠隔教育受講生（遠隔選科生）」募集要項

科目名 遠隔-3 保健社会学

A. 科目責任者： 武村 真治（公衆衛生政策研究部）

B. 科目の内容概略ならびに一般目標 (General Instructional Objective: GIO) と行動目標 (Specific Behavioral Objectives: SBO)

○内容概略

本科目は、保健医療に係わる社会現象に関する社会学者の様々な言説について、それらの特長や問題点を批判的に吟味することによって、健康、医療、そして社会の問題を幅広い視点から分析・議論できる能力を習得することを目的としている。しかし、社会学者の言説を覚える必要はない。それらの言説についてディスカッションすることを開講期間の制限のもとで「エンドレス」に行うことで、科目の目的を達成する。

○一般目標：健康、医療に関わる様々な社会現象を幅広い視点から分析・議論できる能力を習得する。

○行動目標

- ・現代の保健医療システムを分析する視点が多様であることを理解する。
- ・健康、医療に関する様々な問題を「自分のことば」で説明し、それについて他者と議論することができる。
- ・健康、医療に関する社会現象を分析する際に、常に批判的・反省的な態度を保持することができる。

○科目の進め方

- ・各チャプターでテーマを設定し、それに関する社会学者の論文や理論を紹介する。
- ・それらの特長や問題点を批判的に吟味し、掲示板においてディスカッションを行い、テーマに関する理解を深める。

C. チャプター名と各チャプターにおける獲得目標

第1章 なぜ病人は医師に受診するのか？

タルコット・パーソンズの理論（病人役割 (sick role)、社会システムなど）を批判的に吟味する。

第2章 医療は病気をつくる？

イヴァン・イリッチの「脱病院化社会」における医療批判言説を批判的に吟味する。

第3章 「Public Health」は「public」か？

ハンナ・アレントの「人間の条件」、ユルゲン・ハーバーマスの「公共性の構造転換」における public に関する言説を批判的に吟味する。

D. 担当者一覧：武村 真治（公衆衛生政策研究部）

E. 募集定員：定員 10 人

F. 受講資格：保健医療福祉関連業務に従事する者

G. スクーリングの有無：なし

H. 修了認定の方法：各チャプターにおける掲示板での発言回数

I. 開講期間：令和5年12月18日～令和6年 1月12日

J. 受付期間：令和5年10月16日～令和5年11月15日

K. 追加提出書類等：なし

L. 使用テキスト：なし

M. 接続環境：インターネットを用いて科学院遠隔教育システムにアクセスできる.

N. 専門課程（分割後期を含む）認定単位：1